

5 領域支援プログラム（放課後等デイサービス）



理 念：自立する未来の創造

自立する未来の創造 ココロ

支援方針：お母さんの心の負担を軽くして、子どもの心を育てます。

「心豊かに、心優しく、社会で自立する能力を身につける」という思いのもと、児童一人一人にあった個別支援や他者との関わりの中で学ぶ集団活動を行います。

自分の【ココロ】を大切に、誰もが平等に成長できる、健全な社会の一助となることを目指しています。

営業時間：9時から18時まで / 送迎実施の有無：学校へのお迎えのみ有

家族支援 ご家族の負担軽減のお手伝いをいたします。家庭での困りごとに対する助言やサポート、延長サービス、学校へのお迎えなど。

移行支援 学校、関係機関との連携を密に行います。

地域支援・地域連携 公共交通機関の利用をすることで、社会での振る舞いや理解を増やしていきます。高校生、大学生との交流で社会性を身につけられるように支援します。学校、関係機関との連携を密に行います。

社員の質の向上 定期的な研修を行い社員のスキルアップを図ります。毎日のミーティングによる情報共有を行います。各種委員会の設置をし、常に危機管理意識を持って安全に運営いたします。

主な行事等

- ・ 月一回：避難訓練
- ・ 年に数回：遠足（こども館、みらい〜ら、ランチ会、夏季：市民プール等）
- ・ イベント：水遊び、夏祭り、クリスマス会等

本人支援（放課後等デイサービス）

健康・生活

- 毎日の検温・手洗いを実施し、一人一人の健康状態を把握しています。
- 基本的な生活習慣を身につけ、生活リズムを整える支援をしています。

認知・行動

- 日付の読み上げ、カレンダーの掲示をする事で数や曜日の並び等の概念の習得を図ります。
- してよい行動・しては行けない行動を認識し、行動に移せるよう支援していきます。

人間関係・社会性

- 地域の資源を活用し、社会体験学習を経験する中で社会のルールやマナーに関する知識を養います。
- 個人課題活動、共同活動を通して自己理解・他者理解を養います。
- 遊びを通じて社会性の発達を促す支援をします。

運動・感覚

- 様々なツールを用いて微細・粗大運動の両方を支援できる環境を整えています。
- 普段の姿勢への声掛けや粗大運動で、体幹や筋力の維持・強化を図ります。姿勢の崩れ等の改善を目指しています。
- 粘土、スライム、おやつ作り等の活動を通し、材料計測から完成までの過程で、物質の変化と感覚の認知形成を行います。
- 保有する視覚・聴覚を十分に活用して感性豊かに育つよう支援します。

言語・コミュニケーション

- 帰りの会でよかったこと、楽しかったこと等を発表する場面を提供し、他者に自分の言葉で自分の気持ちを話す力を養います。
- 帰りの会で、他者の発表を聞こうという姿勢で聞く力を養います。
- 他者へ自分の思いや要求、助けてほしいことを言葉で伝える支援をしていきます。

